

愛知県瀬戸市の末広町商店街にて、空き店舗を持続的に活用する仕組みと拠点づくり、新規出店者の募集やサポートを行った。

■ 事業概要

事業部門	部門2 住宅市場を活用した空き家に係る課題の解決を行う事業
事業地域	愛知県瀬戸市
背景・課題	①瀬戸市の末広町商店街では、下水道が未整備の箇所もあり、初期投資が大きくなり、出店のハードルが高い。 ②既存の建物は、店舗面積が大きいため、家賃が高くなる傾向にあり、出店者や出店業種が限定されてしまう。 ③飲食店が少なく営業時間も短いため、商店街で過ごす時間が短くなり、賑わいが失われつつある。
目的	上記の地域課題解決に向けて、持続的に空き店舗を活用するための仕組みと拠点を整備する。
連携する団体・役割	瀬戸市役所 地域振興部ものづくり振興課 神谷 求(出店希望者のサポートなど) 愛知工業大学 工学部建築科 益尾孝祐 講師(地域のリサーチやワークショップなど) ゲストハウスますきち 代表 南 慎太郎(ワークショップ、街歩きによる地域の魅力発信など)

■ 取組内容と成果

・瀬戸くらし研究所の整備:

シェアキッチン→飲食固定ブース→商店街の空き店舗というように、事業を徐々に大きくできることで出店のハードルを下げる。

・空き店舗見学を含めた街歩きツアー

空き店舗の内覧会を街歩きツアーと同時に行うことで、新規出店希望者に街の魅力を伝え、出店のイメージをしやすくすると共に、観光の街としての付加価値を作る。

・材料開発

瀬戸ならではの資源を活かした古材建材(窯道具や陶器など)を開発することで、瀬戸の魅力発信と関係人口増加を創出する。開発・ワークショップ講師:中村修平氏、高須浩輔氏(中村塗装工業所)高橋慶成氏(いすみ古材研究所)
協力窯元:王子窯(合資会社丸朝製陶所)

さらには、新規出店者の募集や事業計画のサポートなどを行った結果、5件の空き家活用相談があり、内3事業者への出店に伴う事業計画や設計のサポートを行い、2事業者の末広町商店街への出店が決定した。